

城南魂

正しい心
美しい心
粘り強い心

「ホッともっと BOX」好調!!

7月に紹介しました「ホッともっとBOX」の取組ですが、日々多くのメッセージがBOXに届いています。

初めは「放送で紹介しよう」と考えていましたが、嬉しいことに、予想よりもたくさんのメッセージが届いていて、放送では紹介しきれない程です。そこで放送も行いながら、すべてのメッセージを職員室前廊下に掲示しています。「友人への感謝」や「優しい行動への賞賛」など、温かいメッセージがたくさん掲示されているので、皆さん、ぜひ見てください。また、保護者の皆様にも見ていただきたいので、皆さんの家族にもぜひ紹介してください。



温かい「言葉遣い」から 温かい「人間関係」が生まれる!!

みなさんは、「自分の話し方」について考えたことはありますか？小学校でも中学校でも、あるいは家庭でも、「言葉遣い」を指導されたことは誰でも必ずあると思います。なぜ大人は良い「言葉遣い」を教えるのでしょうか？それは「言葉遣い」が人柄を表す要素の一つであり、「言葉遣い」だけで人間関係を良くも悪くもするものだからです。口調や言葉遣いにはその人の性格がよく表れ、「その人が礼儀正しく良識ある人なのかどうか」をみてとることができますし、そこにいる人の口調や言葉遣いで、その場の雰囲気(人間関係)も変わります。

最近、私には気になる事があります。それは校内で時々「心無い言葉」が聞こえてくることです。特にひどい言葉が「死ぬ」「消えろ」「キモイ」などの人を傷つける言葉です。私が「そういう言葉は使わないで！」と声をかけても「お互いに使ってるし、別に気にならないから大丈夫ですよ。」と返されたことがあります。ですが「自分は気にならない…」は決して正当な理由ではなく、ワガママな判断のように感じます。私を含めた多くの人は、言われたらひどく傷つく言葉だと思ひますし、言われたのが自分でなくても聞こえてくること自体、嫌な言葉ではないでしょうか？皆さんはこのような言葉を何も気にせず使っている人を見て、その人をどんな人だと思いますか？また、そんな人の側にいたいという気持ちになるのでしょうか？

一方、「言葉遣い」が穏やかで温かい人の周りでは、みんなが安心して生活でき、居心地がよいと感じるのではないのでしょうか。城南中から「人を傷つける言葉」をなくし、温かく思いやりのある「言葉遣い」を心がけ、今以上に過ごしやすい学校をつくっていきましょう。また、義務教育最後の中学校生活で礼儀正しい言葉遣いを身につけ、カッコいい大人に近づきましょう。

～保護者様へ～

朝晩が肌寒くなってきました。中間服や冬服への移行については、指定の期間は定めておりませんので、各家庭でご判断下さい。また、更に寒くなると学生服やボックスを着るようになると思います。冬服のきまりについても、今後、生徒達にも話をしていきますが、制服の内側に着るセーターやトレーナーについては袖や裾からでないようなサイズで着せてくださいますようお願いいたします。また、カイロについては持ち込み可能ですが、必ずご自宅で処分をしてくださいますよう、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。